

請願第4号

私立幼稚園幼児教育振興助成に関する請願

紹介議員

米	重	健	男
杉	谷	伸	夫
太	田	秀	明
長	尾	美	矢子
上	田		雅
石	田	眞	由美

私立幼稚園幼児教育振興助成に関する請願

(1) 請願の要旨

1. 無償化に伴って、市町村での幼稚園への補助を減らさないようにお願いします。
2. 加盟各幼稚園の環境・設備充実のために、一園毎の助成をお願いします。
3. 2歳児の保育を行う幼稚園への補助金をお願いします。
4. 幼児教育を支える療育状況の改善をお願いします。

(2) 請願の理由・内容

私立幼稚園助成について

幼児教育とは「自発的な遊びを通じて生涯にわたる人格形成の基礎を築いていく」教育です。これを基とし、乙訓私立幼稚園に所属する幼稚園は、特色をもった環境設定を各園の自己負担で整え、幼児教育の質を確保し、充実させています。ここに、市町村レベルで各園に助成していただければ、子ども達の成長を支える環境は更に豊かになり、子ども達の成長をさらに促すこととなります。そればかりか、地域の将来は、子ども達の健全な発達と共に、発展していくものと信じます。

また、質の高い幼児教育を実現するためには、幼児教育に合った環境の設定、設備安全面・衛生面・保育者の人材確保や育成などの充実と維持とをなさねばなりません。これらには、多額の経費が必要ですが、これに対する運営補助は大変少ないと思います。日本をはじめとする先進国約 30 カ国で形成している経済協力開発機構 OECD は、幼児教育への投資の充実こそが、各国の持続可能な成長を保証すると主張しています。このことを受け止め、国は幼児教育の無償化を行い、その一歩を踏み出しました。乙訓においても、学校に位置付けている幼稚園の環境充実とその維持に支援が必要であり、無償化の実現と共に、従来の補助を減らすのではなく、幼稚園への助成に回し、さらなる充実をお願いします。

2歳児の幼児教育を行う幼稚園への補助金について

女性活躍推進や、孤立した子育て時代の変化に伴い、国や府レベルで行政が推し進めている「親と2歳児の幼稚園通園や2歳児の幼稚園での保育」があります。この分野も、各幼稚園の自己負担によってまかなわれています。市町村レベルでの補助金をお願いします。

幼児教育を支える療育状況の更なる改善について

近い将来行われる京都府向日が丘支援学校の改築や、それに合わせて計画されている長岡京市の共生型福祉施設構想に、就学前の療育を必要とする子ども達を支えることを加えて頂きたいです。特別支援教育を必要とする子ども達の健全な発育の為の施設や環境が、乙訓管内では足りていません。療育を必要とする子ども自身とご家族、そこに向き合う保育者がその時々その場で適切な療育を受けられれば、必要のない悩みや苦しみからも解放されるのではないのでしょうか。こうした子どもやその環境に早

期の対応を図る事で、就学後の支援教育やインクルーシブ教育も大きく進展すると考えられます。

以上4点につきまして、乙訓の自治体が、市民の人生の土台になる幼児教育を、直接しっかり支えるという体制を、国や府と歩調を合わせて行えば、有効性を増し、社会もこれを評価し、ますます乙訓地域の健全な発展を促すものとなると信じます。どうかよろしくお願いいたします。

以上、私たち乙訓地区の私立幼稚園の保護者と教職員は地域住民の期待に応えるため署名簿を添えて助成をお願いいたします。

令和元年11月26日

請 願 者

向日市議会議長

天 野 俊 宏 様